

## 1 次期総合戦略のタイトルおよび計画期間について

地方版総合戦略の名称については、国が示している「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」によると、地域の実情に応じた名称を設定することが適切とされている。

国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、「デジタル田園都市」の名称を用いる自治体もあるが、本市では、これまで第1期、第2期と取り組みを進めてきた人口減少対策の評価と検証の上に立ち、より効果的な取り組みを検討・実践していくという意味を込め、

**「第3期函館市活性化総合戦略」としたい。**

計画期間については、上位計画である「函館市総合計画基本構想」の計画期間に合わせることも考えられるが、各施策を効果的・効率的に推進するためには一定期間を見据えた上で取り組みを進めることが重要と考えることから、

**「令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間」**を計画期間としたい。

なお、基本構想の改訂の際には、本戦略についても必要に応じて改訂を行うこととする。

## 2 地域ビジョンについて

地方版総合戦略の策定にあたっては、地域が抱える社会課題の解決を図るため、地域が目指すべき理想像(=地域ビジョン)を再構築することが求められている。

上位計画である基本構想には、策定から10年後の将来像を定めていることから、基本構想の実施計画に位置づけられる本戦略においても同じ将来像を目指すこととしたい。

(参考) 現基本構想における将来像：北のクロスロードHAKODATE～ともに始める 未来を拓く～

## 3 策定にあたっての参考事項

◎ 第2期函館市活性化総合戦略の進捗状況(別紙1参照)

◎ 函館市政策アドバイザー 第1回意見交換会での主な発言内容(別紙2参照)

◎ (仮)人口関係資料 ※第1回会議での委員からの要望 (別紙3参照)

◎ 市民アンケート・中間集計の状況(地域幸福度指標分のみ。別紙4参照)

- ・ 9月5日時点回答数(Web入力分のみ集計) : ①20歳以上市民対象 689件(回答率:17.2%)  
②大学生・高校生対象 982件(回答率:11.3%)

※ アンケート調査回答期日 : ①8月31日  
②高校生:9月11日 大学生等:9月30日

#### 4 基本目標の設定について

本市の人口減少は、「若年層をはじめとする転出超過」，「合計特殊出生率の低下などに伴う出生数の減少」，「高齢化の進行による高齢者の死亡数の増加」が主な要因となっており，平成27年度に策定した第1期総合戦略，令和元年度に策定した第2期総合戦略においても，これらの要因を改善するため各種施策に努めてきたところであるが，依然として歯止めがかかっていない状況である。

第3期総合戦略においても，目指す将来像を見据えながら，引き続きこれらの課題解決に向けた目標の設定を行う。

なお，本市では，「デジタルの力で，便利で快適な住みやすいまち」を目指した『函館市デジタル変革推進ビジョン』を策定していることから，本ビジョンに基づく取組を推進する「函館市デジタル変革推進プラットフォーム」での議論を参考に，デジタル技術の活用が課題解決につながるものについては，積極的に取り組みを検討することとしたい。

#### ◎ 第2期戦略における基本目標（参考）

- 基本目標1 市民一人ひとりの幸せを大切にします
- 基本目標2 函館の経済を支え強化します
- 基本目標3 快適で魅力あるまちづくりを進めます

#### ◎ 第3期戦略における基本目標（たたき台）

第2期戦略の評価などから，

- ・第2期戦略の評価や他の会議などでの意見等を総合的に勘案すると，本市の課題や求められる施策は，**子育てや仕事，健康**の分野に多いと考えられる。
- ・地域幸福度指標による簡易分析の結果では，「**子育て**」「**雇用・所得**」「**健康状態**」などが課題として抽出される。

以上を踏まえ，以下の4つを設定したい。

- 基本目標1 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをめざす
- 基本目標2 魅力ある雇用環境の創出と地域経済の活性化をめざす
- 基本目標3 健康で快適な生活がかなうまちをめざす
- 基本目標4 何度でも訪れたくなる魅力あるまちをめざす

## 5 第3期戦略における施策項目（たたき台）について

第2期戦略の評価・検証を踏まえた上で、第3期戦略においては、計画期間の5年間で取組を進める項目については焦点を絞ったものとすることを検討したい。

### 《第2期戦略の施策項目》

#### 市民一人ひとりの幸せを大切にします

- ① 地域で見守り支える福祉拠点づくり
- ② 健康で元気に生活できる環境づくり
- ③ 出産・子育てへの支援強化
- ④ ひとり親家庭等への支援強化
- ⑤ 地域の将来を担う人づくり
- ⑥ いじめや虐待の未然防止・早期発見・早期対応
- ⑦ 教育環境の充実

#### 函館の経済を支え強化します

- ① 観光客等の増加をめざす取組
- ② ITやロボットなど先端技術を活用した生産性の向上
- ③ 食を支える安心・安全な農水産物の生産・供給支援のほか、食の魅力を高め、多くのひとを呼び込み販路拡大につなげる支援
- ④ 誰もが生き生き働くことができる環境整備

#### 快適で魅力あるまちづくりを進めます

- ① デザイン性の高い町並みの整備やにぎわい空間の創出
- ② 交通アクセスの向上
- ③ 災害に強く安心・安全なまちへの体制強化
- ④ 公共交通の充実
- ⑤ 文化・スポーツの振興
- ⑥ 環境にやさしいまちの推進
- ⑦ 移住・定住を検討している方への魅力発信
- ⑧ 行政事務の効率化と市民の利便性向上

### 《第3期戦略の施策項目(たたき台)》

#### 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをめざす

- ① 結婚・出産の希望をかなえる支援
- ② 切れ目のない子育て支援
- ③ 子育てしながら働きやすい環境整備
- ④ 子ども・若者の学びの場の充実

#### 魅力ある雇用環境の創出と地域経済の活性化をめざす

- ① DX推進等による地元企業の競争力強化への支援
- ② 企業誘致活動の強化とチャレンジする若者への支援
- ③ 持続可能で魅力的な農林漁業実現のための支援
- ④ 誰もが働きやすい環境づくり
- ⑤ 自然環境に負荷の少ない事業活動への転換による産業の振興

#### 健康で快適な生活がかなうまちをめざす

- ① 多様性を認め合うインクルーシブな環境づくり
- ② 地域で支え合い健康で生き生きと暮らせる環境の充実
- ③ 快適な暮らしを実現する生活環境の確保
- ④ 安全で利便性の高い交通環境の確保

#### 何度でも訪れたくなる魅力あるまちをめざす

- ① 人が集い賑わう場の創出
- ② 観光の質を高める取組の強化
- ③ 陸・海・空の交通ネットワークの充実
- ④ 移住・定住を後押しする取組の充実

## 6 数値目標の設定について

基本目標の達成度を把握するための数値目標を設定する必要があるが、その指標および数値（現状値、目標値）については、次回以降の会議で提示・議論したい。